



令和7（2025）年

7月 保育園だより

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

梅雨が続いています。暑さも本格的になってきました。

雨の日には、「空が暗い。」「白くて立山連峰見えない。」と自然の不思議さを口にしたり、梅雨の晴れ間に園庭に出て、汗をかきながら、シャボン玉や虫探しに夢中になって遊んでいます。子ども達の気づきに心を寄せ、一緒に楽しみさらなる好奇心へとつながるよう関わってまいります。

また、体調を崩しやすい時期でもあるので、クーラーを上手に使い、こまめな水分補給と休息を心がけていきます。



1(火)	交通指導 毎月1日、15日は年齢に適した交通ルールを学びます	15(火)	交通指導
4(金)	桜井高校生 保育体験(至11日)	20(日)	あいじ家庭の日(至26日)
7(月)	フレンズタイム 歌に合わせて「あいうべ体操」や「足元気体操」「ラジオ体操」をして健康増進と異年齢交流を図ります。	22(火)	フレンズタイム 避難訓練 身体測定(至25日)
10(木)	イングリッシュタイム 10:30～ ブライアン先生&りえ先生 (4,5歳児)	24(木)	子育てサポーター シニアサロン 9:30～
12(土)	社会を明るくする運動 10:45頃～ ステージ発表 (5歳児参加) あいじ家族まつり 17:00～19:00 ※保育は16:30までとなります。 ご協力お願いします。	25(金)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。
13(日)	第24回カラー草取りボランティア 7:00～8:00		※感謝の日 3園合同研修会 18:00～ 随時布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
14(月)	フレンズタイム	28(月)	フレンズタイム <8月の行事予定>
		27(水)	陶芸教室 (5歳児)

退職：山田保育士 お世話になりました



保育・教育

「やってみたい!!」と思うことを自主的に、保育者や友達と一緒に楽しんでいます。そんな様子を紹介します。



0歳児 ひよこ

いないいないばあ遊びが大好きな子ども達は、保育者が「いないいない…」と顔を隠すと、一緒に「ばあ!」と声を出したり、部屋にある大きな鏡に向かって「ばあ!」と遊んだりしています。最近は保育者が物陰に隠れ「〇〇ちゃ〜ん、どこだ!」と声を掛けるとどこにいるのかな…?とキョロキョロしながら探します。チラッと顔を覗かせる保育者を見つけるとニコニコで近づいてきて「ばあ〜!」と大喜び。声を出して笑う姿から楽しんでいることが伝わります。聞く、見る、考えるの芽がめばえています。



2歳児 うさぎ組

「口周りの筋肉の発達を促す」ことをねらいとして、ストローで息を吹き膨らます玩具を作りました。初めは吸ってしまう子が多く「できない〜」という子がいましたが、「あいうべ体操のうーの口でするんだよ」と伝え、コツをつかみできるようになりました。膨らませることができると「ほら、見て!できた」「いっぱい膨らんだ」と何度もやって見せにきます。口周りの筋肉を使うことは、呼吸機能の向上や発音、咀嚼の向上、よだれや食べこぼしの減少につながると言われています。あいうべ体操、そして、この時期の遊びとして、シャボン玉を取り入れていく予定です。ぜひ、ご家庭でも作って遊んでみてください。



4歳児 くま組

園庭や学び野で見つけたバッタやカタツムリを保育室で飼育しています。毎日、保育者と一緒に餌を取り替えたり、乾燥を防ぐために霧吹きで水をかけたりしてお世話をしています。日々お世話をしながら観察していると様々な様子に出会うことができます。「白菜が好きなんじゃない?いっぱい食べてあるね」「あっ、ツノが出てきた!」「こんな上までジャンプした!」等、驚きや発見を言葉にしたり、変化を友達と伝え合い共有しようとしています。最近では、バッタが脱皮をし、カタツムリが卵を産みました。“わぁ〜すごい”“この先、どうなるんだろう”という不思議さや期待感をもつ姿に共感し、生き物との関わりから得られる学びの芽を大切に関わっていきます。



1歳児 りす組

ペットボトルの蓋を縦に4つつなげたもの(3cm)を穴に入れます。穴の形や位置を確認しながら、目と手の連動(協働動作)をさせながら集中して入れます。入ると「はいった!」「できた!」と、保育者と拍手して喜びます。さらに小さな穴へ、ストローを落とすことにも挑戦しています。今後も「できた。先生一緒に。みてみて」という楽しさを味わい、指先を使う遊びを通して発達を促していきます。



3歳児 いぬ組

学び野で栽培しているきゅうりを初収穫した時から、「きゅうり」という食材に関心が深まりつつあります。その中で、『きゅうりができた』というふれあい遊びを保育者や友達と楽しんでいます。二人ペアになり、互いの体を撫で、軽くタッチする。揉んだり、くすぐるなど歌をうたいながらふれあい、笑い声が響いています。今回は、歌詞を紹介します。お子さんにぜひ歌ってもらいながら、ご家族でふれあい遊びを楽しんでみてください!

- きゅうりができた×3回繰り返し
さあ 食べよう
- 塩ふってバババ×3回
バババ
- いたずりキュキュキュ×3回キュキュキュ
- ほうちょうでトントン×3
トントントン
いた〜だきます! パクパク〜ムシャムシャ〜



5歳児 らいおん組

遠足で吉田科学館へ行き、天体や宇宙に興味や関心をもちました。その経験から「みんなで宇宙迷路を作ろう!」と大量の段ボールを友達と運び、組み立てる、つなげる作業をしました。段ボールという重くて大きな物を扱うので自然に友達と協力しながら取り組むことになりました。遊びの目的を共有し、「ちょっと、そこ押さえて。」「ここ、つなげたら行き止まりになるよね」と試行錯誤し、1週間かけて完成させました。また、一人ひとりの発想力、創造力が発揮され、空き箱等利用し、ロケットや宇宙人を作り、天井から吊り下げて宇宙を創っています。宇宙迷路をスタンブラリーにし、惑星10個をみつけながらゴールするというルールは、みんなで意見を出し合って決めました。このような自主的な活動を通し、友達と一協力することで、ダイナミックなことが実現できると知る、貴重な体験をしています。